

よみうり文化センター（千里中央）再整備事業
に係る事後調査報告書
（Ⅱ期工事 建設作業騒音・振動）

平成28年3月

株式会社読売新聞大阪本社
読売テレビ放送株式会社
関西電力株式会社
関電不動産株式会社
MID都市開発株式会社

目 次

1. 事業者の氏名及び住所	1
2. 対象事業の名称	1
3. 対象事業の実施状況	1
4. 事後調査の方法	2
4. 1 調査期間	2
4. 2 調査内容	2
5. 事後調査の結果と検証	4
5. 1 建設作業騒音	4
5. 2 建設作業振動	4

1. 事業者の氏名及び住所

名称：株式会社 読売新聞大阪本社
 代表者：代表取締役社長 杉山 美邦
 所在地：大阪市北区野崎町5番9号

名称：読売テレビ放送 株式会社
 代表者：代表取締役社長 望月 規夫
 所在地：大阪市中央区城見2丁目2番33号

名称：関西電力 株式会社
 代表者：取締役社長 八木 誠
 所在地：大阪市北区中之島3丁目6番16号

名称：関電不動産 株式会社
 代表者：代表取締役社長 中森 朝明
 所在地：大阪市北区中之島6丁目2番27号

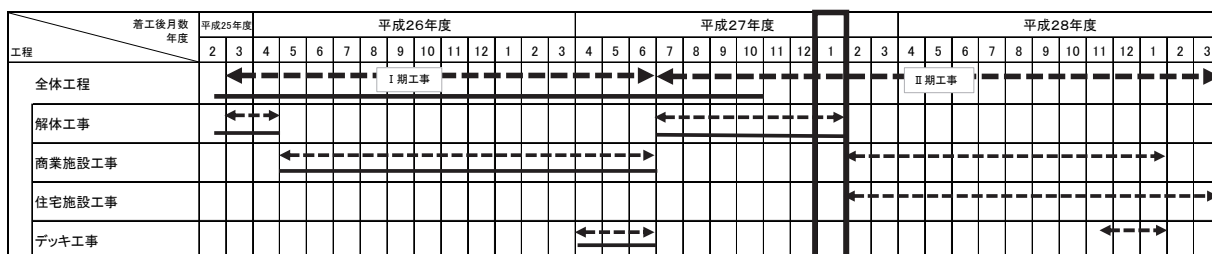
名称：MID都市開発 株式会社
 代表者：代表取締役社長 花井 良一
 所在地：大阪市北区堂島浜1丁目4番4号

2. 対象事業の名称

よみうり文化センター（千里中央）再整備事業

3. 対象事業の実施状況

対象事業については、平成26年2月17日に着工した。工事は予定通り進行しており、平成27年6月にⅠ期工事は終了し、平成28年1月時点でⅡ期工事における基礎工事の山留壁工事及び杭工事である。Ⅱ期工事中の建設作業騒音・振動調査を実施した平成28年1月は、全体工期58か月のうちの24か月目にあたる。



←-----> : 予定
 ----- : 実績
 [] : 本報告書時点での工程

4. 事後調査の方法

4. 1 調査期間

調査期間は以下のとおりである。

平成28年1月27日(水) 8:00～20:00

なお、Ⅱ期工事の建設作業騒音・振動調査については、Ⅱ期工事の最盛期に行うことになっており、振動の影響が大きいと予想される時期（平成27年12月1日）に既に騒音と振動の調査を実施した。今回は騒音の影響が大きいと予想される時期（平成28年1月27日）に騒音と振動の調査を実施した結果である。

4. 2 調査内容

調査項目一覧を表4-1に示す。また、調査実施日の工事状況（建設機械の配置）及び調査地点の位置を図4-1に示す。

工事状況としては、基礎工事の山留壁工事及び杭工事を実施しており、建設機械のうち山留壁工事は主に工事区域内の中央で、杭工事は中央から南側で稼働している。工事区域の西側は道路に面していること、周辺の住居等は事業計画地の北側に位置していることから、調査地点は工事区域北東部の敷地境界付近とした。

表4-1 調査項目一覧表

調査項目	調査頻度	調査地点	調査手法	評価方法
騒音レベルの 90%レンジ上端値 (L_{A5})	工事時間帯（8時～20時）について、毎正時から10分間測定	Ⅱ期工事敷地境界線上 1地点（図4-1）	JIS Z8731 「環境騒音の表示・測定方法」に準拠 測定高 1.2m	特定建設作業に係る騒音の規制基準値（85デシベル）以下であること
振動レベルの 80%レンジ上端値 (L_{10})			JIS Z8735 「振動レベル測定方法」に準拠	特定建設作業に係る振動の規制基準値（75デシベル）以下であること

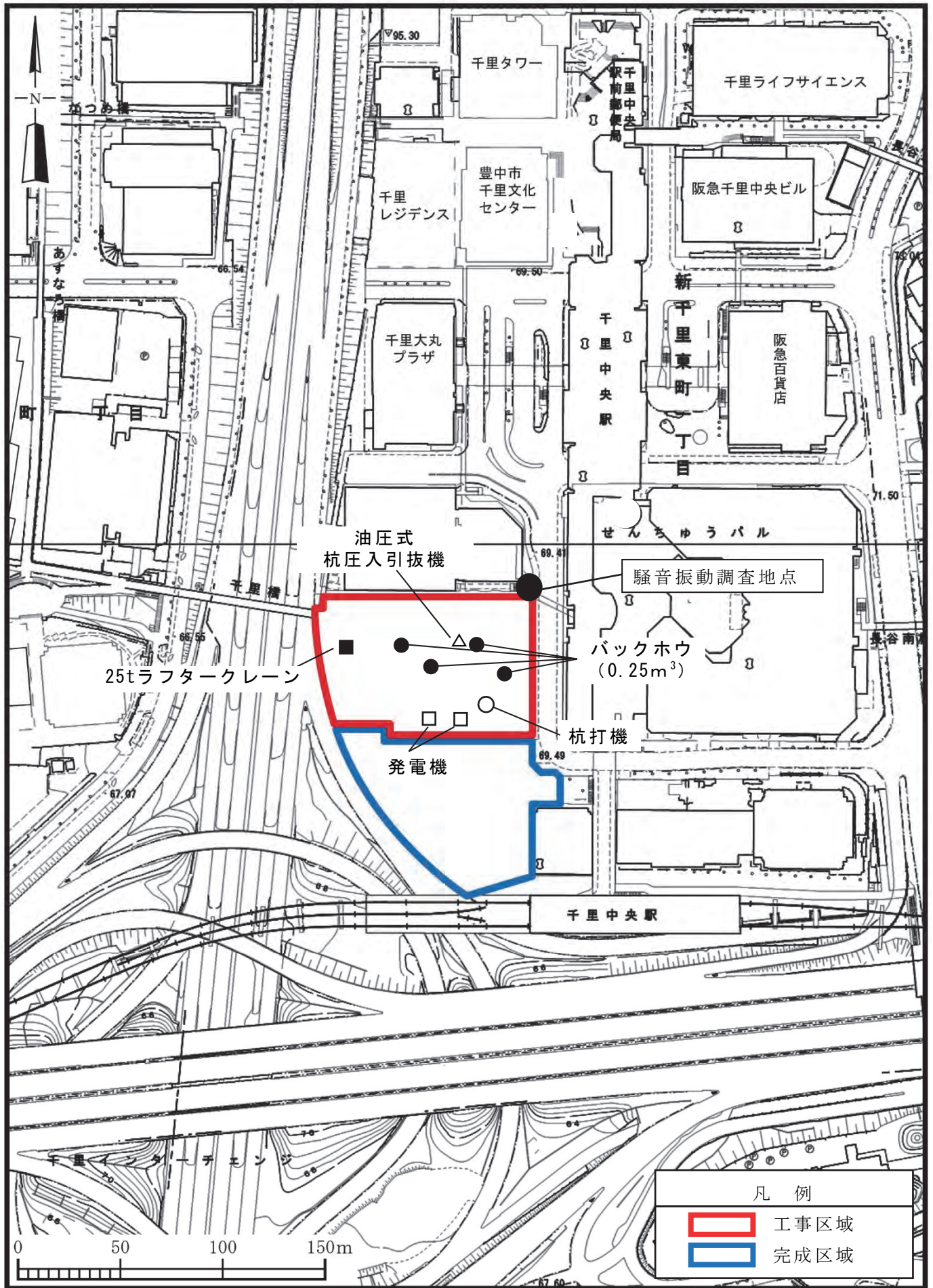


図4-1 調査地点位置図

5. 事後調査の結果と検証

5.1 建設作業騒音

建設作業騒音に関する事後調査結果（工事中：Ⅱ期工事）を表5-1に示す。

調査地点における騒音レベルの90%レンジ上端値(L_{A5})は、68～72デシベルであり、すべての時間において特定建設作業に係る騒音の規制基準値85デシベル及び環境影響評価時の予測値である計画値81デシベルを下回っていた。よって、工事の実施に伴う建設機械騒音の影響は特に問題となるものではないと評価する。

表 5-1 建設作業騒音に関する事後調査結果（工事中：Ⅱ期工事）

単位：デシベル

計画値	平成27年度実績	規制基準値
騒音レベル (L_{A5})	騒音レベル (L_{A5})	
81	68～72	85

注：計画値は、環境影響評価時の予測値である。

5.2 建設作業振動

建設作業振動に関する事後調査結果（工事中：Ⅱ期工事）を表5-2に示す。

調査地点における振動レベルの80%レンジ上端値(L_{10})は、40～47デシベルであり、すべての時間において特定建設作業に係る振動の規制基準値75デシベル及び環境影響評価時の予測値である計画値70デシベルを下回っていた。よって、工事の実施に伴う建設機械振動の影響は特に問題となるものではないと評価する。

表 5-2 建設作業振動に関する事後調査結果（工事中：Ⅱ期工事）

単位：デシベル

計画値	平成27年度実績	規制基準値
振動レベル (L_{10})	振動レベル (L_{10})	
70	40～47	75

注：計画値は、環境影響評価時の予測値である。

参 考 资 料

騒音レベル調査結果

調査地点：敷地境界

調査日時：平成 28 年 1 月 27 日（水）8:00～20:00

単位：デシベル

時間帯	観測時間	等価騒音レベル L_{Aeq}	時間率騒音レベル		
			L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}
昼間	8:00 ～ 9:00	62.6	70	62	58
	9:00 ～ 10:00	67.5	71	66	63
	10:00 ～ 11:00	68.4	71	67	65
	11:00 ～ 12:00	70.2	72	67	63
	12:00 ～ 13:00	66.5	71	64	61
	13:00 ～ 14:00	68.0	72	65	62
	14:00 ～ 15:00	70.6	72	67	64
	15:00 ～ 16:00	68.8	71	66	62
	16:00 ～ 17:00	69.2	72	66	63
	17:00 ～ 18:00	68.3	69	64	62
	18:00 ～ 19:00	70.2	70	64	61
	19:00 ～ 20:00	65.0	68	62	58
	最大値	70.6	72	67	65
	最小値	62.6	68	62	58
	平均値	68.6	71	65	62

注1:測定値は、毎正時より10分間の値を示す

注2:平均値において、時間率騒音レベルは算術平均、等価騒音レベルはエネルギー平均の値を示す。

振動レベル調査結果

調査地点：敷地境界

調査日時：平成 28 年 1 月 27 日（水）8:00～20:00

単位：デシベル

時間帯	観測時間	時間率振動レベル		
		L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀
日間	8:00 ～ 9:00	41	36	32
	9:00 ～ 10:00	44	40	36
	10:00 ～ 11:00	46	42	41
	11:00 ～ 12:00	47	41	37
	12:00 ～ 13:00	42	35	33
	13:00 ～ 14:00	41	37	33
	14:00 ～ 15:00	47	40	36
	15:00 ～ 16:00	44	38	33
	16:00 ～ 17:00	46	40	34
	17:00 ～ 18:00	41	37	33
	18:00 ～ 19:00	40	36	33
	19:00 ～ 20:00	40	34	31
最大値		47	42	41
最小値		40	34	31
平均値		43	38	34

注：測定値は、毎正時より10分間の値を示す